

## 令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1045	事業名	スポーツ総務事業			
所属名	スポーツ局スポーツ振興課、 スポーツ局競技・施設課	評価責任者	スポーツ振興課長 神谷 輝			
		作成責任者	加納 綾香	ダイヤルイン	052-954-6087	
政策名	スポーツ行政の円滑な運営		施策名	局総務事務の円滑な執行		
事業目的	スポーツ局の事務費等に関する事務を行うことにより、スポーツ行政の円滑な運営を図る。					
根拠法令・計画等	職員の給与に関する条例 等					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	6.60人( 0人)	6.60人( 0人)	6.60人( 0人)	6.40人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	2人( 0人)	2人( 0人)	2人( 0人)	2人( 0人)
	経費	人件費(a)	68,666千円	70,918千円	73,307千円	68,287千円
		事業費(b)	8,024千円	7,712千円	6,141千円	11,070千円
		公債費(c)	0千円	0千円	0千円	0千円
		計(a)+(b)+(c)	76,690千円	78,630千円	79,447千円	79,357千円
	収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	0千円	0千円
	経費のうち、一般財源等		76,655千円	78,612千円	79,405千円	79,333千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>スポーツ局職員及び公益的法人等派遣職員の給与、スポーツ行政の円滑な運営を図るための管理事務等を行う。</p> <p>1 管理事務費:989千円(人頭旅費469千円) 2 スポーツ総務事業費:7,035千円(事務費5,378千円)</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	県民当たりコスト(PL経常費用／本県人口)	最終目標	—	—
				5年度	—	(見込)
		2		4年度	11円	(実績)
				最終目標		
		3		5年度		(見込)
				4年度		(実績)
		4		最終目標		
				5年度		(見込)
		5		4年度		(実績)
				最終目標		
		5年度		5年度		(見込)
				4年度		(実績)
		外部要因等	なし			
		目的の達成に関する評価	<p>一:評価なし(判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:管理事業全体を評価するのに最適な指標であるため)</p>			
コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、人件費の増により、3年度の10円に比べ1円増加した。					
課題	効率的かつ適正な執行を図りつつ事業を行う必要がある。					
今後の方向性	より効率的で適正な事業の執行に努める。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

## 令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1055	事業名	スポーツ振興事業費			
所属名	スポーツ局スポーツ振興課	評価責任者	スポーツ振興課長 神谷 輝			
		作成責任者	榎本 健	ダイヤルイン	052-954-6247	
政策名	スポーツ大会を活かした地域振興		施策名	スポーツ大会を活かした地域振興		
事業目的	全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる					
根拠法令・計画等	あいちビジョン2030					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	11.40人(0人)	11.40人(0人)	11.40人(0人)	13.60人(0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)
	経費	人件費(a)	107,929千円	111,123千円	111,965千円	131,249千円
		事業費(b)	143,003千円	147,848千円	138,849千円	246,949千円
		公債費(c)	0千円	0千円	0千円	0千円
		計(a)+(b)+(c)	250,932千円	258,971千円	250,814千円	378,198千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	0千円	0千円
	経費のうち、一般財源等		250,932千円	258,971千円	250,814千円	284,198千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	スポーツ大会を活かした地域振興を図るため、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成する。 1 あいちスポーツコミッション事業費:84,879千円 (スポーツ大会育成活動・地域活性化促進活動73,358千円) 2 マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知開催費負担金:55,000千円 3 第4回世界弓道大会開催費負担金:3,124千円					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	県内スポーツ情報を発信するウェブサイトのアクセス件数	最終目標	200,000件	
				5年度	167,500件	400,000件 (見込)
				4年度	149,000件	305,000件 (実績)
		2	名古屋ウィメンズマラソンの県外・海外からの出場者数	最終目標	15,000人	
				5年度	15,000人	15,000人 (見込)
				4年度	15,000人	10,335人 (実績)
		3	県民当たりコスト(PL経常経費/本県人口)	最終目標	—	
				5年度	—	— (見込)
				4年度	—	32円 (実績)
	4		最終目標			
			5年度		(見込)	
			4年度		(実績)	
	5		最終目標			
			5年度		(見込)	
4年度				(実績)		
外部要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、名古屋ウィメンズマラソン2023の県外・海外からの出場者数が例年より減少した。					
目的の達成に関する評価	C: 相当程度進展あり (判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:事業目的であるスポーツ大会の育成及び地域活性化の状況を示す指標であるため) ・主要な指標では目標を大きく上回ったが、名古屋ウィメンズマラソンの県外・海外からの出場者数について目標の80%を下回ったため、管理事業全体ではC評価とした。 ・あいちスポーツコミッション事業費については、魅力的な情報発信を実施したこと等により、ウェブサイトのアクセス数が目標を大きく上回った。					
コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、スポーツ推進計画策定費及び第5回アジアパラ競技大会開催調査費が廃止されたこと等により、3年度の50円に比べ、18円減少した。					
課題	なし					
今後の方向性	あいちスポーツコミッションのネットワーク等を活用して、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる取組を進めていく。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

## 令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	1058	事業名	アジア・アジアパラ競技大会推進事業			
所属名	スポーツ局アジア・アジアパラ競技大会推進課	評価責任者	アジア・アジアパラ競技大会推進課長 田上 健治			
		作成責任者	岩田 将誉	ダイヤルイン	052-954-6845	
政策名	第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催、大会レガシーの継承	施策名	第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催準備			
事業目的	第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催に向けた準備を、名古屋市、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と連携して進める。					
根拠法令・計画等	あいちビジョン2030					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	121人(0人)	91人(0人)	91人(0人)	54人(0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)
	経費	人件費(a)	1,145,564千円	887,031千円	833,788千円	529,338千円
		事業費(b)	7,004,286千円	1,998,127千円	12,247,295千円	10,186,304千円
		公債費(c)	0千円	0千円	0千円	0千円
		計(a)+(b)+(c)	8,149,850千円	2,885,158千円	13,081,083千円	10,715,642千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	0千円	0千円
	経費のうち、一般財源等		7,139,692千円	2,777,324千円	12,319,875千円	10,715,642千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会の開催に向けた準備を、名古屋市、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会と連携して進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 推進事務費:30,290千円(国外連絡調整費14,754千円)</li> <li>2 アジア・アジアパラ競技大会愛知・名古屋合同準備会負担金:173,099千円(合同準備会負担金173,099千円)</li> <li>3 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会負担金:5,269,241千円(組織委員会負担金5,269,241千円)</li> <li>4 選手村後利用基盤整備事業費負担金:1,450,258千円(基盤整備事業費負担金1,450,258千円)</li> <li>5 市町村施設改修事業費補助金:71,240千円(令和5年度施設改修実施市町村への補助金71,240千円) 外に債務負担行為:127,373千円(工事完了が令和6年度となる豊田市への補助金127,373千円)</li> <li>6 アジア・アジアパラ競技大会基金利子収益積立金:10,158千円(基金利子収益積立金10,158千円)</li> </ol>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1 第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の開催	最終目標	第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会の開催		
			5年度	大会運営計画の検討	大会運営計画の検討(見込)	
			4年度	大会運営計画の検討	大会運営計画の検討(実績)	
		2 推進本部会議の開催回数	最終目標	毎年度1回の開催		
			5年度	1回	1回(見込)	
			4年度	1回	0回(実績)	
		3 合同準備会事業の達成率	最終目標	毎年度100%達成		
			5年度	100%	100%(見込)	
			4年度	100%	100%(実績)	
		4 組織委員会事業の達成率	最終目標	毎年度100%達成		
			5年度	100%	100%(見込)	
			4年度	100%	100%(実績)	
		5 県民当たりコスト(PL経常経費/本県人口)	最終目標	—		
			5年度	—	—(見込)	
	4年度		—	400円(実績)		
	外部要因等	なし				
	目的の達成に関する評価	<p>C:相当程度進展あり(判断の理由)</p> <p>◎主要な指標:1(理由:アジア競技大会及びアジアパラ競技大会を開催することが本事業の最終目的であるため)</p> <p>・主要な指標について、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会の大会運営計画の検討を行い、大会の開催に向けた準備を進めることができた。</p> <p>・推進本部会議の開催回数については、幹事会を書面で2回開催したが、主要な議題がなかったことから、本部会議は開催することができなかった。</p>				
	コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、大会準備の本格化による大会組織委員会等への負担金の増等に伴い、3年度の109円に比べ、291円増加した。				
	課題	合理的で機能的な大会の開催に向けて、大会運営計画の検討など、アジア・オリンピック評議会及びアジアパラリンピック委員会等との協議を継続していく必要がある。				
今後の方向性	引き続きアジア・オリンピック評議会及びアジアパラリンピック委員会等との協議を継続していく。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	6290	事業名	スポーツ競技事業			
所属名	スポーツ局競技・施設課	評価責任者	競技・施設課長 内田 久			
		作成責任者	佐藤 元美	ダイヤルイン	052-954-7471	
政策名	スポーツの充実・強化		施策名	スポーツ活動の推進と競技力の向上		
事業目的	トップアスリートの発掘・育成・強化、スポーツ環境の整備、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会への選手派遣、障害者のスポーツ参加等を実施し、本県のスポーツ活動の推進と競技力の向上を図る。					
根拠法令・計画等	スポーツ基本法、愛知県スポーツ推進計画2023-2027、スポーツ振興費補助金交付要綱					
従事人員・経費等	区 分		予算額		決算額(C/F)	
			5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	16.10人( 0人)	16.10人( 0人)	16.10人( 0人)	15.10人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	153,020千円	157,530千円	198,642千円	145,596千円
		事業費(b)	424,644千円	357,941千円	297,651千円	222,493千円
		公債費(c)	13,980千円	11,089千円	11,090千円	111,791千円
		計(a)+(b)+(c)	591,644千円	526,560千円	507,383千円	479,880千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	1千円	1千円
	経費のうち、一般財源等		543,922千円	471,360千円	169,603千円	455,322千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	<p>アスリートの育成、競技スポーツの振興、障害者スポーツや地域スポーツの普及に向けた取組を実施する。</p> <p>1 あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業費:100,442千円                  2 国民体育大会・国民スポーツ大会東海ブロック大会費:12,344千円                  3 国民体育大会・国民スポーツ大会派遣費:103,761千円(本大会85,153千円、冬季大会18,608千円)                  4 生涯スポーツ指導費:2,548千円 5 総合型地域スポーツクラブ推進事業費:1,328千円                  6 地域スポーツ活性化事業費補助金:30,000千円 7 障害者スポーツ大会費:49,907千円                  (種目別大会1,024千円、愛知県大会4,165千円、全国大会44,420千円、全国ろうあ者大会298千円)                  8 障害者スポーツ参加促進事業費:9,116千円 9 障害者スポーツ推進事業費:20,443千円                  10 障害者スポーツ振興センター運営費補助金:25,262千円 11 世界身体障害者野球大会開催費:4,000千円                  12 競技力向上対策事業費補助金:48,397千円 13 愛知県スポーツ協会補助金:17,690千円</p>					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式/解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	県内総合型地域スポーツクラブの会員数	最終目標	前年度を上回る	
				5年度	前年度を上回る	前年度を上回る (見込)
				4年度	263,912人	219,446人 (実績)
		2	愛知県障害者スポーツ大会出場者数	最終目標	前年度を上回る	前年度を上回る (見込)
				5年度	前年度を上回る	前年度を上回る (見込)
				4年度	311人	591人 (実績)
		3	国民体育大会における男女総合(天皇杯)順位	最終目標	3位以内	3位以内 (見込)
				5年度	3位以内	3位以内 (見込)
				4年度	3位以内	4位 (実績)
		4	県民当たりコスト(PL経常費用/本県人口)	最終目標	—	— (見込)
				5年度	—	— (見込)
				4年度	—	67円 (実績)
		5		最終目標		(見込)
				5年度		(見込)
4年度				(実績)		
外部要因等	新型コロナウイルス感染症への慎重な対応が求められる中、特に地域スポーツや障害者スポーツの現場では、引き続き活動を縮小、見合わせる等の影響があった。					
目的の達成に関する評価	<p>C 相当程度進展あり (判断理由)</p> <p>◎主要な指標:1(理由:総合型クラブの登録・認証制度の令和4年度開始を受けて、クラブの質的向上を通じた会員数増が期待されている。)</p> <p>・総合型クラブ会員数については、各クラブが会員数を増加させるためイベントや広報活動を行っているが、様々な社会活動が再開される中でクラブを離れる会員もあり、目標を達成できなかった。</p> <p>・愛知県障害者スポーツ大会出場者数については、計画どおり全競技を開催することができたため、目標を達成することができた。</p> <p>・国民体育大会における男女総合(天皇杯)順位は、4位と目標に近い実績であった。</p>					
コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコストは、スポーツ庁等のガイドラインに基づき新型コロナウイルス感染予防策を講じて各種事業を実施したことにより、3年度の47円に比べ20円増加した。					
課題	総合型地域スポーツクラブについては、各市町村に1つ以上は設置することを目指しており、現在、52市町村(96.3%)に設置されている。今後は、創設準備中の1市と未育成の1町について支援を継続するとともに、登録・認証制度の発足に伴い、既存のクラブについても質的な充実やクラブ間のネットワークづくり等に向けた取組を促していく必要がある。					
今後の方向性	県民のスポーツへの関心やスポーツ実施率を高める取組を進め、目標値を達成できるよう努める。					

\* 「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

## 令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	6300	事業名	スポーツ施設管理運営事業			
所属名	スポーツ局競技・施設課、 スポーツ局愛知国際アリーナ課	評価責任者	競技・施設課長 内田 久			
		作成責任者	清水 研次	ダイヤルイン	052-954-6796	
政策名	スポーツの充実・強化		施策名	スポーツ施設の適切な管理運営		
事業目的	施設の効率的な運営及び適切な維持管理により、県民が健康保持増進、体力維持向上を目指し快適にスポーツに親しむための環境を整備する。					
根拠法令 ・計画等	愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例 愛知県スポーツ推進計画2023-2027					
従事人員 ・経費等	区 分	予算額		決算額(C/F)		
		5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度	
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	6.90人( 0人)	5.90人( 0人)	5.90人( 0人)	5.90人( 0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)	0人( 0人)
	経費	人件費(a)	65,326千円	57,511千円	56,547千円	56,621千円
		事業費(b)	1,708,233千円	1,364,588千円	1,458,560千円	1,051,385千円
		公債費(c)	423,949千円	672,943千円	706,265千円	655,634千円
		計(a)+(b)+(c)	2,197,508千円	2,095,042千円	2,221,372千円	1,763,639千円
	収入のうち、受益者負担額 (分担金・負担金、使用料・手数料)		9,185千円	7,390千円	9,477千円	7,235千円
	経費のうち、一般財源等		2,146,797千円	2,045,786千円	1,165,196千円	686,703千円
事業計画の 内容及び事 業費の内訳	<p>県民のスポーツ振興を図るためにスポーツ施設の管理運営を行う。</p> <p>1 スポーツ施設管理運営委託費:314,822千円 (体育館36,507千円、武道館84,213千円、一宮総合運動場60,061千円、口論義運動公園101,255千円、総合射撃場32,786千円)</p> <p>2 スポーツ施設整備費:1,365,911千円 (体育館33,095千円、武道館59,109千円、一宮総合運動場150,512千円、口論義運動公園895,096千円、総合射撃場147,549千円、総合射撃場(鉛回収)3,234千円、土地使用料31,763千円、AED賃借料257千円、体育館ESCOサービス料1,483千円、無線LAN運用経費419千円、射撃場第4射撃場公認料55千円、修繕費42,218千円)</p> <p>3 豊橋市多目的屋内施設整備促進費補助金:27,500千円</p>					
指標 ／ 目標 値 等	指標(指標によっては算式/解説)		目標年度	目標値	実績値・見込	
	1	スポーツ施設の利用率(主 な施設内施設の利用率の平 均値)	最終目標	78.75%		
			5年度	78.75%	78.75% (見込)	
			4年度	78.75%	79.62% (実績)	
	2	指定管理者管理運営モニタ リングの総合評価	最終目標	S評価		
			5年度	S評価	A評価 (見込)	
			4年度	S評価	A評価 (実績)	
	3	施設利用者当たりコスト (PL経常費用/施設利用者 数)	最終目標	—		
			5年度	—	— (見込)	
			4年度	—	1,469円 (実績)	
	4		最終目標			
			5年度		(見込)	
			4年度		(実績)	
	5		最終目標			
			5年度		(見込)	
4年度				(実績)		
外部 要因 等	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、指定管理者の運営努力等により利用者数が増加した。					
目的の 達成に 関する 評価	<p>C:相当程度進展あり (判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:行革大綱に係る重点改革プログラムの項目の一つであるため。) ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、スポーツ施設の利用率が目標を上回ったため。 ・所管する5施設について、指定管理者と綿密な連絡調整を図り、定期的なモニタリングを行うことにより、管理事業全体としては適正な管理運営を実施することができた。</p>					
コスト 指標の 増減 分析	4年度の施設利用者当たりコストは、新型コロナウイルス感染症の影響や施設の閉鎖に伴う利用者減、施設の大規模改修や物価高騰による費用の増等により、3年度の1,089円に比べ380円増加した。					
課題	経年劣化による施設の老朽化も目立っており、大規模な改修が必要となっている。 指定管理者において、利用率をあげるために新たな企画・事業展開も行っているが、引き続き、利用者ニーズに応じた企画を展開していく必要がある。					
今後の 方向性	引き続き、計画的な施設改修を行うとともに、指定管理者制度を活用して、さらに魅力ある施設として運営を行っていく。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。

# 令和 5年度 管理事業評価調書(5年度対象)

事業コード	6310	事業名	新体育館整備推進事業			
所属名	スポーツ局愛知国際アリーナ課	評価責任者	愛知国際アリーナ課長 坂野 厚之			
		作成責任者	谷口 侑也	ダイヤルイン	052-954-6819	
政策名	新体育館の整備		施策名	新体育館の整備推進		
事業目的	国際スポーツ大会などの誘致を可能とし、かつ大相撲名古屋場所の開催など現体育館が担ってきた伝統や歴史をさらに発展させていく愛知・名古屋のシンボルとして、愛知県新体育館を整備する。					
根拠法令・計画等	知事マニフェスト					
従事人員・経費等	区分	予算額		決算額(C/F)		
			5年度(当初)	4年度(当初)	4年度	3年度
	従事人員	正規職員(うち地方機関分)	11人(0人)	8人(0人)	8人(0人)	8人(0人)
		非常勤職員(うち地方機関分)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)	0人(0人)
	経費	人件費(a)	104,142千円	77,981千円	73,336千円	67,540千円
		事業費(b)	110,893千円	669,098千円	665,299千円	1,037,734千円
		公債費(c)	31,808千円	0千円	27,714千円	0千円
		計(a)+(b)+(c)	246,843千円	747,079千円	766,348千円	1,105,274千円
	収入のうち、受益者負担額(分担金・負担金、使用料・手数料)		0千円	0千円	0千円	0千円
	経費のうち、一般財源等		246,843千円	747,079千円	529,348千円	479,274千円
事業計画の内容及び事業費の内訳	PFI事業のモニタリング等及び埋蔵文化財調査を行う。 1 推進事業費:43,559千円 (アドバイザー業務39,820千円、連絡調整費等3,739千円) 2 埋蔵文化財発掘調査費:67,334千円					
評価	指標／目標値等	指標(指標によっては算式／解説)	目標年度	目標値	実績値・見込	
		1	整備・運営体制確立	最終目標	モニタリングの実施	
				5年度	月1回	月1回 (見込)
		4年度	月1回	月1回 (実績)		
		2	県民当たりコスト(PL経常費用／本県人口)	最終目標	—	
				5年度	—	— (見込)
		4年度	—	98円 (実績)		
		3		最終目標		
				5年度		(見込)
		4年度		(実績)		
		4		最終目標		
				5年度		(見込)
		4年度		(実績)		
		5		最終目標		
				5年度		(見込)
4年度		(実績)				
外部要因等	なし					
目的の達成に関する評価	B:目標達成(判断の理由) ◎主要な指標:1(理由:新体育館の整備においてガバナンス維持が欠かせないため) ・ガバナンス基本計画に基づき、目標どおり継続してモニタリングを実施している。					
コスト指標の増減分析	4年度の県民当たりコスト(98円)は、経常費用の減少等により、3年度156円に比べ58円減少した。					
課題	特定事業契約に定められた各業務が、必要な時期に、要求水準書及び条件に適合するものであるか確認しながら、進捗を図っていく必要がある。					
今後の方向性	7年夏の開業に向け、整備・推進体制を構築し、事業のモニタリング等を行う。					

\*「決算額(C/F)」については、表示単位未満の金額を四捨五入しているため、「経費」の内訳の合計と「計」欄が一致しない場合があります。